

# アトリエ 琉游舎 だより 24号

2018年4月11日発行

アトリエ琉游舎 [ryuyusha.com/](http://ryuyusha.com/)  
琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>

## コリーナの春は 読書会と映画会と詩話会と写経会

- ☆春はすべての生きものが生まれたり、蘇ったり、立て直したり、やり直したり、リ・スタートしたり、リニューアルしたりと、変化のエネルギーに満ちあふれる季節です。
- ☆さあ、私たちの体と心のエンジンも温まってきました。散歩がてら琉游舎に立ち寄りませんか？
- ☆琉游舎はオープン・フリー・スペース。いつでも気軽にお越しください。お待ちしております。
- ☆読書会は毎月第2・4火曜日13時半からです。大きな声で法華経を読んでその後に物語の面白さと、日本人の仏教観を分かり易く説明します。お腹から大きな声でお経を読むお経健康法と、堅苦しいと思っていたけどお経って人間臭くて面白い物語なんだという2つの面を楽しんで頂ければと思います。
- ☆映画会は毎週木曜日13時半からです。現在はかつてのハリウッド映画の名作と山田洋次監督の映画を交互に上演しています。若者向けばかりが氾濫する最近の映画やドラマの中で、大人のエンターテインメント映画をお楽しみください。昔のハリウッドスターは格好いいですね。
- ☆詩話会は毎月第2土曜日13時半から。詩人戸井みちおがセレクトする詩を5篇ほど易しく分かり易く語ります。今回はすこし昔の詩人山之口獺です。
- ☆写経会は毎月第1日曜・火曜の13時半から。写経は見本を下に敷いてなぞり書きする方法や、手本を横に置いて写経する方法など、皆さんの一番やりやすい方法で書いてください。大切なのは1字1字心を込めて写経すること。写経道具一式すべてご用意しています。手ぶらでお気軽にお越しください。

**詩話会**

4月14日(土)  
13時半から

**映画会**

毎週木曜日  
13時半から

**読書会**

4月24日(火)  
13時半から

5月1日(火)

5月6日(日)  
13時半から

**写経会**

4/19 木	13時半	おとうと (126分)	山田洋次監督、吉永小百合、笑福亭鶴瓶主演。愚かな弟と賢い姉の物語。 家族というやっかいなでも切っても切れない絆の物語。
4/26 木	13時半	黄昏 (112分)	ローレンス・オリヴィエ主演。ウィリアム・ワイラー監督、1951年アメリカ映画。 愛ゆえに落ちぶれていく男を描く、男のメロドラマ。
5/3 木	13時半	お休みします	
5/10 木	13時半	馬鹿が戦車でやってくる (93分)	山田洋次監督、ハナ肇主演。村はずれに住む貧乏一家が村の権力者に母親がだまされたことを怒り、タンク(戦車)で復讐を企てる寓話喜劇。監督初期の代表作。
5/17 木	13時半	オール・ザ・キングスメン (109分)	プロデリック・クロフォード。1949年アカデミー賞作品賞。三部門を受賞しながら政治の裏側を徹底的に暴いているため日本公開されなかった問題作。
5/25 木	13時半	下町の太陽 (86分)	山田洋次監督、倍賞千恵子、勝呂誉主演。監督の長編初作品。「男はつらいよ」シリーズを彷彿とさせる荒川沿いの下町を舞台に、貧しさからの脱却にもがく若者たちの青春を描く。
5/31 木	13時半	哀愁 (108分)	ピピアン・リー、ロバートテイラー主演。1940年アメリカ映画。映画史上屈指の恋愛映画と呼ばれ続けている名作。軍人と踊り子の美しくも悲しい恋物語。
6/7 木	13時半	馬鹿まるだし (87分)	山田洋次監督、ハナ肇主演。お人好しの暴れん坊を演じるハナ肇のキャラクターが炸裂。監督初めての喜劇映画にして寅さんシリーズのルーツとなる映画。

桜吹雪がイメージする光景は人それぞれですね。かつては4月の入学式の光景だったものが、最近の温暖化で3月の卒業式というイメージもあるようです。「ねがはくは花のしたにて春死なん そのきさらぎのもちづきのころ」西行はこの歌の通り、桜の花の下、満月のころ、無常のままに生きた生涯を終えました。坂口安吾は「桜の森の満開の下」には魔物が住むと物語りました。コリーナのサクラは3月29日に開花したと思ったらあっという間に満開になって、年度をまたいで、花吹雪とともに慌ただしく散っていきました。桜に別れを思うのか、新たな旅立ちを思うのか、無常の象徴なのか、希望の象徴なのか。相反するものの間にあって桜は私たちの心をざわつかせる存在のようです。日本人にとって、桜吹雪は冬から春へと変わる舞台変換の緞帳の役目を果たしているようです。冬の季節の色をあっという間に満開の桜色で消し去り、その桜の花びらを派手に散らすことで、新緑の春色に塗り替えます。それは同時に季節ばかりでなく社会的環境変化の緞帳の役目も果たしているのです。私たちにとって、入学入社異動など新しい社会環境への移行に、この桜吹雪の舞台装置はなくてはならないものなのでしょう。

「善知識」という言葉があります。仏教では「善き友、真の友人」「仏教の正しい道理を教え利益をあたえて導いてくれる人」を意味します。法華経に「善知識」という語彙が頻繁に出てきますが、その意味を確認することなくただ「良い知識を持っている人」くらいの意味だとずっと思っていました。読み進めるうちにどうしても「善知識＝善き友」とはシンプルには理解しがたくて、いろいろな辞書をあたってみたところ、一般的に私たちが使っている「知識」は「智識」と表記することが多かったようで、「知識」の漢語の本来の意味は「友達」だったようなのです。だから「善知識」＝「善き友」なのです。ちなみに岩波の仏教辞典には「知識＝友人」以外の説明は載っていません。この60年間私は「知識」について何の知識も持たないまま知識を振りかざしてきたということが、図らずも明るみに出てしまいました。

経典によってさかしらの知識に「知識」の正しい意味を与えられたとたん、私は仏教のことが知識ではなく実感として感じられるようになりました。原始経典の中でお釈迦様はこのようなことをおっしゃっています。「善き友を持ち、善き仲間の中にあると言うことは、この道のすべてである」これはお釈迦様が弟子に対して「やすらぎのところにたどり着くための道は善知識とともにあることそのものだ」とおっしゃっているのです。弟子たちを天の高みから教え諭して、こちらに来なさいと呼んでいるのではなく、今一緒に居るこの仲間たちとともに相携えて道を歩んで行こうと言われているのです。ですからお釈迦様は弟子たちにとってはもちろん善知識なのですが、弟子たちもお釈迦様にとっての善知識であり、お釈迦様は指導者ではなく皆と平等な、お互いを善知識と認める同行者なのです。

仏教はこのような成り立ちが故に、西洋的な宗教概念は当てはまらないようです。お釈迦様が悟り、教示された「教え（法）」を信ずることただその一点で宗教として成立しているのであり、何らかの神性や救済の力がお釈迦様に付与されているわけではありません。キリスト教徒は神の恩寵を受ける身としては平等であり、そこには区別も差別もありませんが、ただ彼らの上には天にまします神があり、その神によって使わされた仲保者としてのキリストがあるのです。お釈迦様とともに歩む人たちの上には何もいません。神も仲保者もなく、教祖であるお釈迦様でさえも、同行者の一人、善知識の一人にすぎないのです。

仏教は危険な教えであると何度か書きましたが「善知識」にもそれが言えるでしょう。絶対的な神から罰を与えられることもないし、神の指示のもとに行動を規定されることもない、純然たる自由が仏教にはあるのです。「教え」を「智識」として受容すれば、解釈が生まれ、判断が生まれ、放逸無法への危険な道も開けてしまうでしょう。だから「教え」を同行者として「行い」続けることが求められるのです。ひたすらお釈迦様の「教え（法）」の明かりを信じ、自らの足で「教え」とともに「行い」続ければよいのです。ひれ伏して恩寵を願う相手も頼るべき仲保者もない中で、頼るべきはともに歩む善知識だけです。

私はこの生きている社会そのものとそれを構成する人や自然や環境すべてを善知識と考えたいと思います。今ここにあることが「行い」であるならば、その同行者は自分以外のすべてです。そして同行者は善知識そのものです。これは「善知識」これは「悪知識」といって自分のさかしらの判断で選別した瞬間、ありのままに観ることができなくなってしまうでしょう。桜吹雪の緞帳が上がって、新しい舞台へと移行するこの季節、新しい善知識と出会う時でもあります。♪1年生になったら 1年生になったら 友達百人できるかな♪ 私はこの歌のように、毎日が1年生になったばかりの気持ちで一日が始まり1日がおわり、そして一生をおえることができればいいな、などと桜吹雪を観ながら夢想しているところです。

今回は、桜吹雪が演出する季節の目まぐるしい変化に惑わされて、ちょっと感傷的になってしまったようです。桜の花の満開の下にはやはり人を惑わす魔物がいるのでしょうか？ 琉游舎：戸井 出琉・恭子  
魔物は自分が作り出すもう一人の自分。この自分もありのままに観ていかなければならないですね。それではまた次号でお会いしましょう。（出琉）

お問い合わせ先：0287-53-7848 08033508152

矢板市大槻2319-17コリーナ矢板C-850

アトリエ琉游舎 ryuyusha.com/

琉游舎for healing <https://toi101izuru.wixsite.com/mysite-3>